

《国際社会における日本のあり方》

H.14年6月6日

衆議院憲法調査会

杏林大学総合政策学部教授 田久保 忠衛

1. いまの国際情勢をどう見るか？

米一極時代の到来（ハンチントン論文 Survival 90～91年）

Bush 政権の登場と 9.11 テロ

-) 力を背景にした外交（“ Theodore Rex ” by Edmond Morris）
-) ミサイル防衛（M.D.）の推進、ABM 条約脱退
-) 9.11 テロ、フェイズ 、フェイズ

2. 新しい国際秩序はどうか？

米露関係に大きな変化

-) M.D.、9.11 テロの協力、NATO の東方拡大
-) 「NATO・ロシア理事会」（5月28日 ローマ会議）

二面性を持つ米中関係

-) 市場重視、WTO、オリンピック開催
-) 安全保障重視、中国は「戦略的競争相手」
-) 台湾の戦略的曖昧性を透明化
 - 3つのNO 否定、「戦略的パートナーシップ」 「戦略的競争相手」
 - 武器供与（ディーゼル潜水艦、キッド級駆逐艦、P3C etc.） 国会演説
 - 湯曜明・台湾国防部長訪米
-) 北朝鮮
 - 太陽政策否定、「悪の枢軸」
-) インド、パキスタン

3. 日本に対する期待（『新しい日米同盟』p.35～p.54）

相対的にも緊密化した日米関係

Bush 政権からの要請

-) ゼーリック論文 F.A. 2000年1～2月

-) キャンベル発言 「外交フォーラム」1999年11月号
-) アーミテージ報告 16人署名 2000年10月

安全保障上の役割強化

4. 日本の歩み（憲法が原点）

「吉田ドクトリン」1985年 永井陽之助

竹下三原則 1988年（ODA、国際文化交流、平和への貢献）

湾岸戦争

「ハンディキャップ国家」1993年「プレジデント」6月号

「軍隊ではない」、「必要最小限度の軍事力」、「集団的自衛権」、「有事法制」、「交戦規程」etc. テロ法

5. ドイツ

国軍、NATO加盟、東独と統一

湾岸（小艦艇5隻の地中海への派遣、多国籍軍への自国基地の提供、ジェット戦闘機「アルファ」18機と兵員300人のトルコ派遣、イスラエルへの「パトリオット・ミサイル」提供、90億ドルの支援）

94年 連邦憲法裁判例

99年 NATOの一翼

2001年 シュレーダー演説

6. 結 論